

事例 17 地元企業や地方公共団体と連携した清掃活動の実施 (東北森林管理局 三陸北部森林管理署)



- ・岩手県^{みやこ}宮古市 ^{ながほらやま}長洞山国有林
- ・(左) 林内に不法投棄されたタイヤを運び出す様子(令和6(2024)年7月)
- ・(右) 不法投棄物をトラックに積み込む様子(令和6(2024)年7月)

三陸北部森林管理署では、日頃より国有林野の清掃活動や不法投棄の未然防止に努めていますが、同署管内に所在する重茂半島では、以前から、市道沿いの国有林野への不法投棄が後を絶たず、森林の公益的機能の発揮や周辺環境への悪影響が懸念されたため、ごみの撤去が必要となっていました。

このような中、地元企業から、社会貢献活動の一環として清掃活動に協力したいとの申し出があったことも踏まえ、廃棄物処理を担う宮古市とも調整し、令和6(2024)年7月に地元企業や同市と連携した清掃活動を実施しました。

清掃活動は「重茂半島クリーン作戦」と題して行われ、当日は、同署、地元企業及び同市から42名が参加し、不法投棄されたごみの撤去作業を実施しました。現地には空き缶やペットボトル等の一般的なものから、タイヤや冷蔵庫等の粗大ごみまで、多くのごみが投棄されており、4tトラックに換算して3台分以上のごみを収集しました。

同署では、本取組を広くPRするとともに、不法投棄防止の取組を進めていくこととしています。